

万国の労働者、被抑圧民族団結せよ！

社共にかわる革命的労働者党を創建しよう！

1997年2月10日

《毎月10日発行》
第192号 4項200円
年間定期購読料（送料込み）
開封2500円／密封3000円

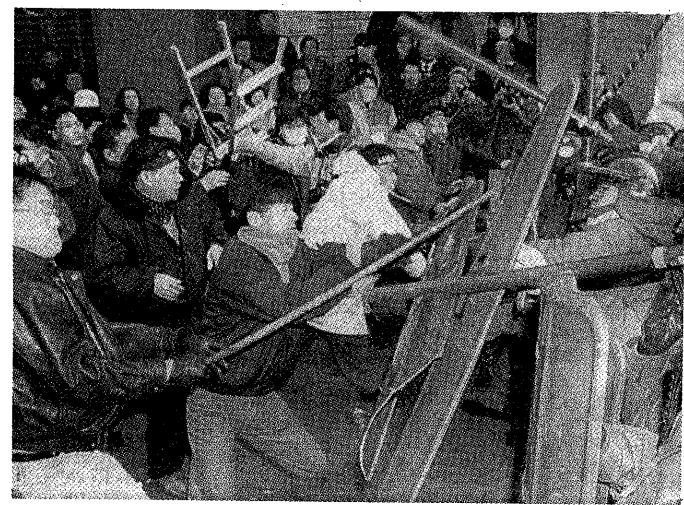
赤旗

共産主義者同盟中央機関紙

(1980年2月28日第3種郵便物認可)

二面：闘争報告
三面：民主労総の歴史
四面：技術の発達と社会革命
発行
赤路社
埼玉県新座郵便局私書箱47号
郵便番号：00590-0-20004
(関西)大阪港郵便局私書箱40号
郵便番号：00940-1-132778

韓国 史上最大のゼネスト闘争



韓国のプロレタリアートは昨年末から、韓国民主労働組合総連盟（民主労総）に領導され、一大ゼネスト闘争をたたかっている。改悪労働法・安企部法改悪無効化と金泳三政権打倒に向けたこのゼネスト闘争は、韓国プロレタリアートの階級的成熟度を世界に示す、文字通り歴史的なたたかいである。二月の中旬にも、たたかい一大決戦局面を迎えるとしている。

われが同盟は、韓国プロレタリアートの偉大なたたかいに断固として支持と連帯の意を表明し、日本のすべてのプロレタリアート・人民に支援・連帯を呼びかける。

民主労総に牽引された

ゼネスト闘争

昨年十二月二十六日の金泳三政権による改悪労働法と安企部法改悪のクーデターの暴挙に対し、韓国プロレタリアートは文字通り歴史的な大反撃に起ち上

この日から即座に開始された十五万人も時限ストに突入し、この日のストは六百五十八労組、約三十六万人にのぼった。年を明け、一月三日からは民主労総が第二波ゼネストが敢行された。十三日まで連日、十一月突入を皮切りに、三十日まで連日、二十七日から



この黒リボンは「韓国における民主主義の死」を表すマーク。世界でこの民主闘争のシンボルとしているものと思われる。

日本のプロレタリアート・人民は支援・連帯にたちあがろう

支援・連帯にたちあがろう

2・13

沖縄米軍用地強制使用反対！
講演と模擬公開審理

2月13日(木)午後6時半
主催／一坪反戦地主会関東ブロック

十七日闘争の到達段階と情勢を踏まえ、民主労総は新たな戦術を確定した。それは毎週水曜日のゼネスト、土曜日の全開催である。二十二日の水曜日

韓国階級闘争における一大級攻防は、決戦のときが迫つて会見)ものだ。

【3面に次ぐ】



9 谷 佐藤さん虐殺12ヶ年・山岡さん虐殺11ヶ年弾劾！ 1 山 日雇全協総決起集会たかわれる

1

一月十九日、東京・山谷の玉姫公園において「佐藤さん虐殺」、「山岡さん虐殺」、「十二ヵ年山岡さん虐殺」、「年弾劾！」、「金町一家解体」、「日雇全協総決起集会」が約三百名の仲間の結集でたたかいとられた。

午前九時半過ぎ、挑発を繰り返す権力や敵対勢力に転げ落ちた分裂グループの介入を許さず、日雇全協各支部の真紅の組合旗が北風になびく玉姫公園で、圧倒的な拍手のなか集会が始まる。

「赤旗」と日の丸とのたたかいは不可欠であり、全国布陣の闘争を準備し、みんなでたたかいを創っていくとした。また、韓国での「新労働関係法」成立に対する民主労総を中心とした空港のストライキや沖縄での沖日労の反安保、反基地の闘いにわれわれも連帯し、「兄弟的団結をかちとろう」と訴えた。最後に、分裂グループの「暴力を内

われわれが团结の質といふものを持てなかつた証拠ではないか。今こそ、全協結成の原点に立ち、仲間同士の团结を打ち固め、金町に對して絶対に勝利する」と宣言。そして、名古屋・笠島で右翼ヤクザがエセ「毎日労

を名乗り登場したことを上げ、「赤旗と日の丸とのたたかいは不可欠であり、全国布陣の闘争を準備し、みんなでたたかいを創っていくとした。また、韓

国での「新労働関係法」成立に対する民主労総を中心とした空港のストライキや沖縄での沖日労の反安保、反基地の闘いにわれわれも連帯し、「兄弟的団結をかちとろう」と訴えた。最後に、分裂グループの「暴力を内

われわれが团结の質といふものを持てなかつた証拠ではないか。今こそ、全協結成の原点に立ち、仲間同士の团结を打ち固め、金町に對して絶対に勝利する」と宣言。そして、名古屋・笠島で右翼ヤクザがエセ「毎日労

を名乗り登場したことを上げ、「赤旗と日の丸とのたたかいは不可欠であり、全国布陣の闘争を準備し、みんなでたたかいを創していくとした。また、韓

国での「新労働関係法」成立に対する民主労総を中心とした空港のストライキや沖縄での沖日労の反安保、反基地の闘いにわれわれも連帯し、「兄弟的団結をかちとろう」と訴えた。最後に、分裂グループの「暴力を内

われわれが团结の質といふものを持てなかつた証拠ではないか。今こそ、全協結成の原点に立ち、仲間同士の团结を打ち固め、金町に對して絶対に勝利する」と宣言。そして、名古屋・笠島で右翼ヤクザがエセ「毎日労

を名乗り登場したことを上げ、「赤旗と日の丸とのたたかいは不可欠であり、全国布陣の闘争を準備し、みんなでたたかいを創していくとした。また、韓

議員の友部達夫が詐欺容疑で逮捕された。二月にはKJC（経済革命俱楽部）会長の山本一郎が同じく詐欺容疑で逮捕された。前者は「オレンジ共済組合」を実質創設・主宰し、「共済」と銘打つて八十億円を集めた。あらうこと

か、この方の大半を自己の選挙活動放蕩三昧に蕩尽して、三億円を集め、京都・ガードマン・権力の一体と宿へ直結する日雇労働者の現実などを報告した。また、「労働者

は「野薔薇オレンジスープ」は「野薔薇オレンジスープ」とスクランブルを組み直す。「佐藤さん、山岡さんの虐殺にやり返すぞ！」日雇全協は勝利するぞ

！ 日雇全協はたたかうぞ！」のシユブレヒコールで、最後まで戦闘的に集会とデモを終えていた。

左折 最近、詐欺師が新聞紙面を飾らない日はない。この一年には参院実行委員会（準）の仲間からは、川崎の仲間からは、先の越冬期間中に川崎市当局が妨害行為をしていた事実が暴露され、山谷・新宿をつらぬく反失業闘争

活動保護訴訟での勝利があらたにいることを報告。名古屋・笠島からは、先の生徒もいることを報告。神戸から来た仲間は、震災直後、神戸市が野宿労働者に対し避難所からの叩き出しなどの大切だとされた。この発言を受け、参加者全員の拍手とともに確認していく。まさに続いている仲間と一緒に出発していった。マイクが新たな仲間の手に移る。

神戸から来た仲間は、震災直後、神戸市が野宿労働者に対し避難所からの叩き出しなどの大切だとされた。この発言を受け、参加者全員の拍手とともに確認していく。マイクが新たな仲間の手に移る。

名古屋・笠島からは、先の生徒もいることを報告。神戸から来た仲間は、震災直後、神戸市が野宿労働者に対し避難所からの叩き出しなどの大切だとされた。この発言を受け、参加者全員の拍手とともに確認していく。マイクが新たな仲間の手に移る。

民主労総・国際連帯アピール

親愛なる兄弟姉妹。

この厳しい冬の寒さとすべての雪を溶かすため、もっとも暖かい挨拶をおくる。

私は、ILO基準に従う韓国労働法改正を議事日程に載せる助けとなつた国際的な連帯に、率直な感謝の意を表明したい。

民主労総と韓国労総に導かれた、労働組合と労働者の権利、幸福を守るために韓国労働者のゼネストは、すぐに厳しい弾圧に出た政府の失敗に示されているように、昨年12月26日から13日目の今、すでに成功している。

私は同時に、政府がストライキ労働者と組合に締め付け拘束で襲いかかり始めたことを明らかにする。これは、私自身と他の7名の民主労総幹部を含む200組合のリーダーに対する召喚状と拘束を計画する検察発表によって鮮明に示されている。

この状況に実際のインパクトと影響力をもつ国際連帯の機会がつねにあれば、これはとても大事なことだと信ずる。

われわれは、新たな反労働者的大・反組合的労働法の調査のために来韓する国際労働組合運動に、特別の任務を組織するよう要請したい。そのような任務は、現在活動している大多数の組合リーダーへの政府の締め付け拘束を手間取らせるのにとても重要な効果をもつ。

われわれはまた、すべての労働組合と人権・民主組織に、金泳三大統領宛の抗議の手紙を韓国大使館に直接手渡すことを要請したい。これを、韓国大使館の外での大衆集会やピケットと結合させてもらよい。

われわれは、こうした連帶行動が同一日に調整されれば、最大の効果を發揮すると考える。そこでわれわれは、これが可能なかぎり1997年1月10日になされることを提案する。これは、国際的なメディア報道ですでに映し出されている、韓国政府の非民主的な振る舞いへの国際的な注意を拡大するであろう。

民主労総は、われわれの闘争を、政府が労働法再改正のための労働組合代表者を含む議会での論議を再開すると確約するまで持続させることを約束する。これが、ゼネストの平和的収束と、労働条件と労働組合の権利の双方を過去に引き戻そうとする労働悪法の最期を可能にするであろう。

われわれは、現在のストライキの期間だけでなく、1996年を通じた長い論争の最初から最後まで、国際的な連帯と警戒がなければわれわれの闘争の長さと強度もないことを認めるのをためらわない。

権永吉・民主労総委員長

プレヒコールで拳を空に突き上げた後、旗ザオ部隊を先頭に進撃を開始する。「ワッショイ！」と仲間全員で声を上げつつ、権力や金町、分裂グループの挑発・妨害を許さない態勢を維持する。玉姫公園からほど近く金町の事務所では、「金町にやり返すぞ！」と宣言。そして、名古屋・笠島で右翼ヤクザがエセ「毎日労」を名乗り登場したことなどを上げ、「赤旗と日の丸とのたたかいは不可欠であり、全国布陣の闘争を準備し、みんなでたたかいを創っていくとした。また、韓国での「新労働関係法」成立に対する民主労総を中心とした空港のストライキや沖縄での沖日労の反安保、反基地の闘いにわれわれも連帯し、「兄弟的団結をかちとろう」と訴えた。最後に、分裂グループの「暴力を内

われわれが团结の質といふものを持てなかつた証拠ではないか。今こそ、全協結成の原点に立ち、仲間同士の团结を打ち固め、金町に對して絶対に勝利する」と宣言。そして、名古屋・笠島で右翼ヤクザがエセ「毎日労」を名乗り登場したことなどを上げ、「赤旗と日の丸とのたたかいは不可欠であり、全国布陣の闘争を準備し、みんなでたたかいを創っていくとした。また、韓

議員の友部達夫が詐欺容疑で逮捕された。二月にはKJC（経済革命俱楽部）会長の山本一郎が同じく詐欺容疑で逮捕された。前者は「オレンジ共済組合」を実質創設・主宰し、「共済」と銘打つて八十億円を集めた。あらうことか、この方の大半を自己の選挙活動放蕩三昧に蕩尽して、三億円を集め、京都・ガードマン・権力の一体と宿へ直結する日雇労働者の現実などを報告した。また、「労働者

は「野薔薇オレンジスープ」とスクランブルを組み直す。「佐藤さん、山岡さんの虐殺にやり返すぞ！」日雇全協は勝利するぞ！ 日雇全協はたたかうぞ！」のシユブレヒコールで、最後まで戦闘的に集会とデモを終えていた。

左折 最近、詐欺師が新聞紙面を飾らない日はない。この一年には参院実行委員会（準）の仲間からは、川崎の仲間からは、先の越冬期間中に川崎市当局が妨害行為をしていた事実が暴露され、山谷・新宿をつらぬく反失業闘争

民主労総の歴史

偉大な87年6月民衆抗争は、韓国プロレタリアートの階級的・政治的活性化をも促した。

その年の7~9月には、「労働者大衆闘争」と呼ばれる労働争議・プロレタリアートのたたかいが全国的に爆発した。そして88年にかけ、韓国労総とは別に、新たな・自立的な労働組合の結成が、全国で爆発的に増加していった。これらの労働組合は、民主労組と呼ばれる。民主労総にいたる韓国労働運動の起源は、こうした80年代労働運動に求めることができよう。

これら民主労組は、独自に地域的・産業的な協議会を結成しつつ(業種協、地労協)、88年6月から労働法改正闘争を開始した。10月には「全国労働法改正闘争本部」が結成され、この闘争の成果の上に11月、ついに民主ナショナルセンター建設を展望して「地域・業種別労働組合全国会議」(全国会議)が結成されたのだった。

全国会議は89年、共同賃金闘争を開催して「春闘」型労働争議の定着化をかちとりつつ、日帝からの解放以来初めて、メーデーを大衆闘争として復権させた。このメーデーではついに、民主ナショナルセンターとして「全国労働組合協議会」(全労協)創設の計画が宣言された。吹き荒れる盧泰愚政権の労働運動弾圧に抗する「全国教職員労働組合」のたたかいなどを経て、90年1月、全労協が結成された。全労協の主力は、おもに産業プロレタリアートだった。

全労協下の90年は、ヒュンデ重工の長期ストライキ闘争やKBS労組のたたかいなどが展開され、初のゼネストも呼びかけられた。五月には、ホワイトカラー層の労組による「韓国独立産業労組全国会議」が結成され、11月には全労協との共催で全国労働者大会が開催された。韓国のホワイトカラーレーは、87年6月民衆抗争でも重要な役割を果たしたことは有名である。ここにいたり、民主労働運動は、文字通り全産業・業種の統一した潮流として登場したのだ。

91年には、ハンジン重工労組のパク・チャンス委員長の獄中虐殺事件を契機に、5~6月ゼネストがたたかわれた。このたたかいの成果と韓国政府のILO加盟を受け、「ILO基本条約の批准と労働法改正のための連合委員会」が結成された。同委員会は92年、賃金抑制政策に対するたたかいを展開し、9月には1071組合の結集で全国労働者大会を成功させた。この大会では産別組織の強化が宣言され、より強固な民主労組の全国組織創設という課題が、全労働者の熱望となつた。こうして6月、1145組合・40万7000人の参加による「韓国労働組合代表者会議」が創設された。

94年11月、代表者会議の不十分性を克服して新たたたかいを展望すべく、民主労総準備委員会が発足された。そして幾多のたたかいと議論・準備の一年の後、95年11月11日、ついに民主労総創立大会が開催されたのだった。

このように民主労総は、80年代以降の韓国労働運動のたたかいの積み重ねの上に、周到な準備を経て創設されている。

民主労総の勢力は861労組・41万8154人、傘下に地域協議会10、産別連合17、グループ連合2を擁している(95年の創立時点)。

【1面から】
韓國
史上最大のゼネスト闘争

汎国民的な 金泳三政権打倒闘争へ

民主労総に牽引された韓国プロレタリアートのゼネスト闘争は、単なる経済闘争に止まるものではなく、確実に金泳三政権

打倒・民主争取のたたかいへと

発展している。

「ゼネスト闘争は労働法・安企

部法改悪抜き打ちから始まりま

したが、両法の無効化にとどま

るものではありません。本質的

に破壊と建設の闘争です。買弁

士台に民衆中心の実質的民主主

義を建設することが第二です。

単純に労働闘争ではなく新た

たが、これを完全に白紙に戻

すことになる。そもそも、いう

ところの「北韓のスパイ」が露骨

に「反国家活動」を称賛・鼓舞す

るはずなどなく、これらは民族

意識の形成を促している。たたか

いの中で、これまで御用労組と

して韓国階級支配の一機能を果

たしてきた韓国労組を、その創

設以来はじめてのゼネスト闘争

に合流・決起させた。韓国労組

の下部では、たたかわい中央

労働者だけではない。金泳三

政権の改悪労働法・安企部法改悪の暴挙は、全国民的な憤激を

巻き起こしている。在野の民族

主義勢力は、広範な共同戦線と

して民主労総と民主主義民族統

一全国連合(全国連合)を中心と

四十団体以上の結集ですぐさま

汎対委を結成(十二月二十七

日)、全国各地に組織した。宗

教界、法曹界、女性団体の間で

も反対運動が拡大している。

いまや韓国プロレタリアート

のたたかいで、韓国人民の圧倒

的共感と支持を得ていてい

る。一月十一日付「ハンギヨレ

新聞」の世論調査では、じつに

七五%が積極的・消極的支持を

表明している。このような国民

的支助によって、金泳三政権は

いまだに民主労総幹部への逮捕

を執行できていないのだ。

各地の集会でも、労働法・安

企法改悪撤廃とならんで、「金泳三政権退陣」が公然と掲げられている。こうした国民諸層の

動向と前記のような戦略をもつているからこそ、民主労総は、

内・国際世論の動向をも見据えながら国民的陣形の構築と組織

プロレタリアートに 矛盾転嫁する金泳三政権

昨年十二月二十六日未明、新韓国議員が秘密裡に国会に潜入して抜き打ち採決した改悪労働法と安企部法改悪は、統一と民族自主化、民主化のためにたかうあらゆる民族民主運動への弾圧を激化させ労働者の権利を抹殺する大反動である。

安企部法の改悪とは、同第七条「称賛鼓舞罪」(反国家団体の活動を称賛・鼓舞する罪)と第十一条「不告知罪(罪を犯した者を捜査機関に告知しなかつた罪)」

のたたかいで、韓国人民の圧倒的共感と支持を得ていてい

る。この二条の検査権は、金泳三政権の民主化の証として九三年の同法改正によって検査に移譲されて

争だけに純化するではなく、国化に力を置いているのだといふ

の(企業からの給与禁止)規定や新たな「第三者介入禁止」規定をもって、労働者の争議権をはじめあらゆる権利を根絶やしにせんとするものである。

こうした大反動は、韓国ブルジョアジーと國家権力の危機突破をめざすものに他ならない。これまで低コストの商品輸出をはじめあらゆる権利を根絶やしにせんとするものである。

これが反対運動は、韓国ブル

ジヨアジーと国家権力の危機突破をめざすものに他ならない。

日本のプロレタリアート・人民は支援・連帯行動を

韓国のプロレタリアートは比較的無き戦闘力を發揮し、プロレタリアートの持つ力の強さを見せつけた。

日本のプロレタリアート・人民は、韓国プロレタリアートの歴史的なたたかいに連帯し、あらゆる支援・連帯行動にたとうではないか。

その際われわれは、日韓連帯

を、市民的連帯運動をすべてと

して委ねるのではなく、具体的

に意識的でなければならぬ

日本内地においても、各地

で日韓人民の共同による緊急

支援集会・申し入れ行動が取り

組まれ始めている。だが、日本

の労働運動が労働運動として連

帶できているとは言ひ難い面があるのは否定できない。この点では、部分的にはあれど雇用

協で開始された取り組みは歴史的かつ革命的な意義をもつものであり、断固发展させていかなければならない。

元軍隊慰安婦への「一時金支

給で戦争戦後責任の欺瞞的決

着を國る日帝を許さず、米帝を

先頭とした共和国解体・包摶攻撃を粉碎しよう。

「危機管理」「有事」態勢構築

を許す。

韓国プロレタリアート・人民の改悪労働法・安企部法改悪無効化・金泳三政権打倒のたたか

い、統一・自主化運動を断固支

持し、あらゆる支援・連帯行動

